

梅雨が明けた途端に真夏の厳しい暑さが連日続いている中、8月に入り県内各地では夏祭りが始まり、熱気と活気に包まれて大変な賑わいを見せております。リオデジャネイロオリンピックもついに始まり、各競技での熱戦が期待されております。時差があるため、日本時間では夜から早朝の時間帯に競技が行われることが多く寝不足が心配ですが、4年に1回の祭典で盛り上がり、楽しく応援したいものです。

平成28年度 学校給食センター所長研修会 栄養教諭・学校栄養職員夏季研修会

7月22日(金) 青森県総合社会教育センターで開催されました。

今年度は学校給食センター所長、栄養教諭、学校栄養職員、合わせて105名が参加しました。午前は、一般社団法人すこやか食育エコワーク代表理事 藤田 誠一 氏による「食育の視点からみた学校給食の役割」の講演が行われ、学校給食において「誰の為に何をするか」を食育の視点から考え、それを実践するためにどういう取り組みをしていくかという、学校給食の意義について改めて考えさせられる内容に参加者は真剣に講義を受けておりました。

午後は大間町出身の落語家 三遊亭大楽 氏による「笑いと言と健康 一東京では言えない“笑点”での裏話一」の講演が行われました。落語家らしく食に笑いを絡めて面白く語る内容に、参加者は楽しく聞いておりました。

また、昼食の時間帯には毎年恒例の学校給食用物資総合展示会が開催され、県内外メーカー31社が出展しました。2学期からの新製品や参考商品も含めた多くの製品が展示され、各ブースではメーカー担当者が商品についてPRするだけでなく、参加者が質問する姿も見られ、大変活気に満ちておりました。

展示会で出展された製品についての詳しい資料やサンプル等については、学校給食会へお気軽にお問い合わせください。



第1回物資委員会

7月5日(火) 学校給食会で開催されました。

今年度は改選期のため、選任された委員に委嘱状が交付され、続いて学校給食会の平成27年度事業についての報告があり、その後2学期から取扱いの新製品についての選定に入りました。

今回は18品が選定にかけられ、うち14品が取り扱いとなり、なかでも素材製品の評価が高いものが多い結果となりました。

また、選定品以外に、県産品ではにんにくを使った鶏肉製品、長芋を使ったハンバーグやメンチカツ、県産卵を使った玉子焼きなど、アレルギー対応製品ではアレルギー27品目不使用のスライスちくわが紹介され、一部の製品は委員からの意見を反映して改良することとなり、それ以外のものは2学期から取り扱うこととなりました。

選定された製品及び取り扱いとなった県産品、アレルギー対応製品については、商品案内等で御案内いたしますので、詳細な成分表やサンプル依頼等ございましたら学校給食会へお問い合わせください。皆様方の御利用、御協力のほどよろしくお願いいたします。

